

秋の部開催日決定

- 10/20 Sun
- 11/24 Sun
- 12/15 Sun
- 1/26 Sun

8月11日(日) オープンラボ春の部最終回が開催された。参加人数は48名。これまでもっとも多くの来場者でにぎわった。この新聞を手にした皆様に朗報だ。秋の部の開催日が決定した。秋の部は9つのテーマすべて受講できるように設計した。化学、生物、体育、脳、錯覚、病気、検査、などの専門家がオープンラボを盛り上げる。詳細は大学HPおよび中学校経由のチラシにて報告する。



オープンラボ新聞

発行人 StudioNoguchi

動物看護を体験してみよう!

動物たちのヒーローに!

イヌやネコといった愛玩動物は、家族の一員として認識される時代です。今回は、そんな家族に「もしものことがあったら」を想定し、愛玩動物の胸部圧迫の仕方を学び、1分間100-120回リズムを身近な音楽に合わせて体験していただきました。臨床現場同様に行った1人2分間胸部圧迫後は、参加者の方の息もあがっていました。

家族である動物たちのヒーローは飼い主様!是非参考になれば幸いです。

家族にもやり方を伝えていざいざいざに備えたい

体験を終えた来場者に本日の感想を聞いた。

- ▽二分間心臓マッサージをするのは大変だったけどいい経験になった。
- ▽とても楽しくあっという間の時間でした。
- ▽デモを見せてくれた大学生がとても上手で驚きました。
- ▽心臓マッサージの速さを歌に乗せると印象深く記憶にも残りやすく良いアイデアだと思いました。



2分間の心臓マッサージ体験「リズムに乗せて」

胸部圧迫方法や種類によって力の入れ方ややり方が違うというところが印象に残った。

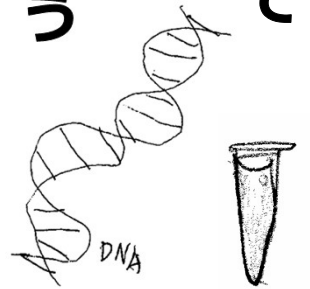
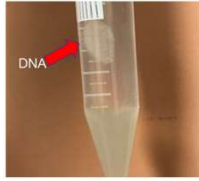
▽自分は動物看護師を目指しているのですが、今日のオープンラボで教えていただいたことを忘れずこれからも色々なことを学び、たくさん動物の命を救うことのできる動物看護師になりたいと、改めて強く思いました。

▽家で飼っている子がなつてしまったら実践しようと思います。また、家族にもやり方を伝えて、いざいざいざに迅速に動けるようにしたい。

家庭にある道具だけで 様々な材料から DNAを抽出してみよう

DNAってなんだ???
どうやっての???

すべての生物は小さな細胞からできています。一つの細胞で生きている生物から、数百兆もの細胞が集まってできています。生物までいます。この細胞の中には遺伝情報を伝えるDNAと呼ばれる物質が入っています。今回は様々な食材からDNAを見える形にして取り出す実験を体験してもらいました。



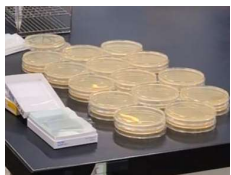
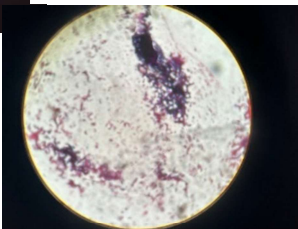
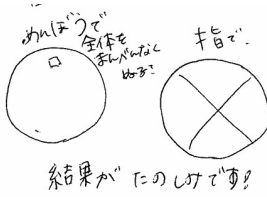
体験した来場者の声など

▽DNAを家庭にある道具だけでとり出せることに驚きました。▽DNAを抽出は科学者がやるような物だとか遠くに感じていたので、新鮮で楽しかったです。▽DNAを抽出する際に、食材をすりばちで潰すという、家でもできるような実験でとても楽しかったです。

▽細胞が浮きやすい「えのきだけ」で私は実験したのですが、色が少し白いだけで見分けがつきづらかったです(笑)

▽DNAを析出させ、臭化エチジウムを加え、紫外線をあてる。とピンクに変化し観測した。

身の周りに存在するバイ菌を 見てみよう、育ててみよう!



「手にはバイ菌が付いているから、家に帰ってきたら手を洗わないとダメだよ」と小さい頃によく言われていたと思います。私たちが生活している環境には様々なバイ菌(微生物)が存在しています。バイ菌の大きさは約1マイクロメートルなので人間の目で見ることができません。

今回は口の中に生息しているバイ菌や手に付着している

バイ菌を見るとは? 育てるとは??

育ててみました!

バイ菌を倒すためには手洗いが非常に有効です。体験の最後に蛍光ローションを使って手洗いがしっかりできていたか確認して、感染予防について理解を深めてみました。

バイ菌、ヤクルトに含まれる乳酸菌、納豆菌に色を付けて顕微鏡で観察してみました! 口や手のバイ菌を栄養素を加えた寒天の上で育ててみました!

体験した来場者の声

▽学生さんがとてもやさしくしてくれましたので、楽しかったです。▽培地に口の菌と、ほかの菌を見て比べてみたら見え方が全然違った。

▽みなさんやさしく教えてくださいました。色んな菌の形があることを知りました。1日おかないと結果が出ないことをはじめて知りました。結果が楽しみです。

▽菌にも色々な種類があり形も様々であること。染色の濃さで細胞壁の厚さが違うことを知りました。

▽バイ菌がカツオノエボシみたいでおもしろかったです。